

戦争社会学研究会 2018 年度関東例会

(共催・日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「ヨーロッパの世俗的・宗教的アイデンティティの行方——政教関係の学際的比較研究」)

ディーノ・アバゾヴィッチ(サラエボ大学)講演会

Religion and (non-)Violence: The Case Study of the Balkans

指定討論者:長島大輔(東京経済大学)

日時:2018年6月3日(日)15:00—17:00

場所:東京大学本郷キャンパス国際学術総合研究棟文学部三番大教室

問合せ先:戦争社会学研究会事務局

(戦争社会学研究会 HP 問合せフォームよりご連絡ください)

<http://scholars-net.com/ssw/contact-us>



*参加自由・入場無料

*講演・質疑応答は英語で行います。

ディーノ・アバゾヴィッチ(Dino Abazović)

サラエボ大学政治学部社会学科教授。同大人権センター長および学際的大学院研究センター宗教学プログラム担当を務める。

専門分野は、宗教社会学・比較宗教学・宗教と政治・宗教と紛争・ナショナリズム・移行期正義・人権など。

ボスニア語での多くの著書・編書のほか、近著の英語論文として、

“Religious Claims during the War and Post-War Bosnia and Herzegovina”, *Borderlands e-Journal, Special Issue Vol 14, No1.*, 2015

“Religion and Politics in Bosnia and Herzegovina: Illustrations from the Postwar and Post-Socialist Transition”(co-author: Ivan Cvitković) in Radeljić, B. - Topić, M (eds.): *RELIGION IN THE POST-YUGOSLAV CONTEXT*, Lexington Books, USA, 2015.

がある。